

建築構造設計の支援

このテーマのキーワード	木造構造設計、建築構造設計
関連するSDGs開発目標	 

研究内容(社会背景・目的、概要、期待される効果)

(社会背景・目的)

建築技術の発展と共に高度で洗練された構造設計の技術が求められています。確かな経験に基づく柔軟な発想を養い、木造を主体とした構造設計の手法と建築士の資格取得への支援を行います。

(概要)

木造を主体としながら構造種別によらない思考によって弱点を補う事でハイブリッドへの可能性や構造デザインについて探究します。

(期待される効果)

求められる多様な空間に対して、必要な構造のディテール等を研究し普遍化する事で広く社会に提案できるようにする。



想定される適用分野・用途・業界

- 組織設計事務所、構造設計事務所、建設業
- 木造住宅の設計・施工

産業界へのアピールポイント

- 木質構造についてモックアップや実験に基づいた確かな提案をします。
- 構造設計全般に対応します。

建設学科 間藤 早太 教授

このテーマに関するお問合せ
E-mail : mric@iot.ac.jp

ものづくり研究情報センター
TEL : 048-564-3880

進化する技・深化する知
 **ものづくり大学**
INSTITUTE OF TECHNOLOGISTS